

## 議会報告会実施報告書

開催日時	平成30年4月24日（火） 19時00分～21時00分		
開催場所	西当別コミュニティセンター	出席者	27名
出席議員	山崎議運副委員長・石川議員・山田議員・澁谷議員・鈴木議員・五十嵐議員・佐藤議員		
<p>◎山崎議運副委員長開会 出席議員自己紹介</p> <p>◎山田議員挨拶</p> <p>○（山田議員）本日はこの報告会に出席いただきまして、感謝申し上げます。この議会報告会は、議会改革を進めてるとともに、日ごろの議会活動の情報を多くの方々に、お知らせして住民の皆さんとの懇談を通して、皆様方の色々な意見を伺い、町政や議会活動に反映し、住民の福祉の向上を目指して開会しております。今回で11回目で、年2回、3月の定例会、9月の定例会の後に開催しておりまして、今年で6年目を迎えます。昨日は、本町のゆとろで行われました。24名ほどの参加があったと聞いております。さて、今日は西地区の13の町内会を対象に開催させていただきました。ところで昨年当別町は、道の駅がオープンしたり、スウェーデンレクサンド市より、姉妹都市交流30周年提携ということで、多くのレクサンド市民の方が来町するなど、賑わいのあった年だったかなと思っております。しかしながら、課題の方も見えてきております。人口の減少問題、少子高齢化、医療体制、また公共施設や社会インフラの更新問題など当別町議会としてもこれらの改題をいかにして克服するか協議しております。しかしながら、これといった対応策はまだ見えておりません。本日は短い時間ではありますが、皆様方から色々な意見をいただき、今後の議会活動、また当別町の町づくりやさきほど申しました課題の克服に向けて、反映させていきたいというふうに考えております。忌憚のないご意見をお願いしまして、冒頭開会の挨拶といたします。今日はよろしくお願いたします。</p> <p>◎12月議会報告 鈴木議員</p> <p>◎3月議会報告 佐藤議員</p> <p>○（町民）陳情の案件について、農民同盟で出された EPA の撤回を求める陳情書、何回か委員会で審議され、最終的には不採択になったと聞いているが、どのような理由か。</p> <p>○（議会）日欧 EPA 大枠合意の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書について、3月の定例会中の委員会の中で、賛成多数で不採択という結論になっている。こちらについて、陳情書の中にあるように農業が当別町において基幹産業なので、特に小麦生産者への影響や、農家戸数の維持、食糧の自給率、食糧安全保障の確保など、懸念される点があり、それについて十分注視していく必要があるというところは、ほぼす</p>			

すべての委員が同じような考えを持っていた。ただ、今回の日欧 EPA については、昨年12月8日の段階で、すでに妥結をしているということ。それから我が国を取り巻く国際情勢などを考慮する中では今回の日欧 EPA 大枠合意の撤回を求めるということは、現時点では不適當ではないかということで不採択という結論になっている。

○（町民）確かに協定書には署名していると思うが、国会批准については、秋が予想されているといふふうに聞いている。何年か前だが、TPP 反対で、全町上げて、この問題、TPP 反対に取り組んだ、珍しい町村だと思う。当別も基幹産業は農業ですし、今後とも人口を減らさないためにも、農業を第一にしてもらい、特に EPA については、ヨーロッパとの EPA については、乳製品、バター、チーズ、そして小麦の調製品、スパゲティーだとかお菓子だとか、こういうのが入ってくる。原料で入ってくるから、加工業者も大変ですし、政府の試算では686億円の損失だと言われている。大半が北海道である。ですから、相当な打撃がこれによって生じると思われる。何としても、国会批准はまだこれからなので、本当は採決していただきたかったが、当別の農業の歴史があって、本当に国も食糧というのは、必要だと食糧法の中にもきちっと謳われているので、ぜひ今後とも、TPP については TPP イレブンとありまして、これも国会批准はこれからです。さらにアメリカとの FTA、これは TPP に入るより FTA の方がずっと得だとアメリカのトランプさんは言っている。これについても今後注視していただきたいなと思っている。

○（議会）産業厚生の方では、不採択ということで3月6日に結果を出しているが、今、このような声があったということで、報告をさせていただく。

○（町民）提案というか、今、当別町の人口について問題になっていると思うが、道新の記事で何日か前に、当別の人口が何年後に半数くらいになる予定とかを見たが、これまで当別町は企業招致、工場とか企業を誘致するのに何十年もがんばって、成果はあまり、良くなったということはなかったが、私はここで視点を変えたらいいんじゃないかと思っている。太美地区は、札幌の通勤圏内で、わざわざ難しい、人口が減っているのに企業や工場を持ってくるようなところはないような気がする。札幌市に比べて土地の値段が坪単価が1万から2万で、私の住んでいるところは2万円くらいで、それらを見ると札幌市に住宅を建てるより、太美地域に住宅を建てて、老後、家庭菜園でも楽しめるような広い坪数を売り出すような計画みたいなものをしてもらったら、どうか。

○（議会）今、定例会の質問を受けているので、後ほどのフリートークで冒頭に取り上げて進めていきたいと思う。

○（町民）当別町公共施設に関するあり方検討特別委員会の件で、半年経って、現段階での話を伝えてくれればというのが一つと議会の立場で、あり方委員会というのは何を目標に立ち上げていて、どこを目指しているのか。あるいは具体的な施設をターゲットに、これとこれを吸収してこれを新設するようなあたりを具体的に教えていただきたい。

○（議会）12月以前から、議会運営委員会で、設置しようということで議論をし、12月議会で設置された。さかのぼって、町として、公共施設の総合管理計画が一昨年でき、これは国から計画を立てて、出しなさいということでできており、その中で、

町としての管理計画がある。どこに力点を置くかということで、一つは新しい施設の問題、長寿命化といいますか、長く持たせるということや除却、使っていないままにしてあり、そういうところを早く撤去するなど、様々な柱があり、一つ一つの建物、または地下に埋まっているものもあるので、どうするかという計画がやっとできたというのが町の段階です。この後、町は具体的に作業を進めていくということになるわけだが、その際、議会としても限られた財源の中で、人口減も問題もあるということで、どんなふうにやっていけばいいのか、ということで、議会も町と一緒にあって、考えなければならない。また議会としてチェックを入れなければいけないということもあるので、ただ12月にできたということで、検討会も始まったばかりということで、具体的にどんな議論をしているか、またどんなことを議論していくか、直近で言えば一体型の小中一貫校をどうするかということで、この7月にも教育委員会としては、どんな一体型の学校にしていくかという一定の方向性を出すということだが、あり方検討特別委員会としても、一体型の小中一貫校、これについて出てくるので、説明をしていただき、チェックを入れていく。全体としては、町の総合管理計画をどう進めていくかということで、議会としてもしっかり、総合管理計画の内容をしっかりと精査して、チェックを入れるということが進められていくということである。

○（町民）当別入植から150年にまもなくということだが、これに関して、記憶では12月議会で議員が一般質問で、150年に合わせて町史編さんなどの質問をされたと思うが、昨年4月に教育委員会に機構改革で編さん係みたいなのが作られたりしたが、議会としては、役場の動きを、入植150年に合わせてどういう動きをしているのかということについて議会としてはどのように承知しているのかお聞きしたい。

○（議会）一般質問では、12月ではなくて9月で行った。3月の代表質問では開拓150周年ということで、当別町は再来年に開拓と言いますか開基150年を迎えるが、150年ということで町として、どのようなかたちで行うかということで、町としては、昨年4月に町史編さんの委員会、150周年に向けての委員会に出たが、まだ具体的な動きはなくて、それに向けて町はどのようなかたちで取り組むかということはやった。今、私としては町史編さんということで、それについて色々、大崎市岩出山と学術研究員を入れながら、その方と交流を図りながら、再来年に向けての町史編さんを今している。私が言っているのは、当別町の中でも古文書が点在しているので、それを集めてそれに向けての町史編さんをやってほしいということで、町としては編さんに向けて取り組んでおりますし、150年までには間に合わせたいということだった。町の動きとしては、特に岩出山との連携をとりながら、岩出山の学術研究員と連携をとりながら、150年に向けてやっているということで、ただ、まだまだ町内にも古文書があちこちに散在しており、それをこれから150年、160年、170年に向けて、それを一括に例えばDVD化して、残すということもやってほしいということで、議会というよりは議員として、教育委員会なり町史編さん係に要望はしているので、これについて町長からは、今年度中にある程度検討していきたいという返答はいただいている。

○（議会）今の件について、30年度の予算審査の中でも何回か議論になっていたの

で、ポイントだけご紹介させていただく。町史編さんは教育委員会は社会教育で担っている部分と町の総務課で見ている部分があり、それぞれについて質疑があり、その中で教育委員会との議論の中では、今後の検討として、町内で専門家、学芸員の資格を得た専門家等を置く必要があるのではないかという意見が議員から出ており、教育委員会としては今まで検討したことはなかったんだけど、研究検討を今後進めていきたいということが教育長から予算委員会の中でと答弁があったので、その点だけ補足の説明をさせていただく。

#### ◎懇談

○（議会）今後の当別町の町づくり、行政、町全体、あるいは町内会の課題、色々あると思う。忌憚のないご意見、提案、これをやっていきたいと思う。さきほどの人口減少の問題から入っていききたいと思うが、当別町の人口の動きを簡単にお話させていただく。1988年に札幌大橋が完成し、1990年、今から30年前に15825人だった。それから太美地区の宅地事業がスタートして、1999年、平成11年に約10年間の間に5000人、20875人が当別町のピークの人数である。その時の平成11年1月1日現在の人数が20692人、この内訳は当別地区14215人。13町内会の太美地区は6477人だった。それから、今年1月1日現在の人数は当別地区は10220人、約4000人の減、太美地区は6145人ということで、約300人の減になっている。この20年間、ピークから今年1月1日まで、片方で約4000人、太美地区で約300人、ピークの時よりもこの43町内会で人口が増えている町内会は、当別地区では金沢です。太美地区では、太美中央、獅子内、スウェーデンヒルズによって、増えているので、この地区は300人くらいの減でとどまっている。それから、今行政としては、2040年に2万人にしようという構想が町長、行政、我々議会もそれに了解していろんな策を講じている。来年度2019年度にはストップして、2020年から増加させようじゃないかということで、駅前開発、太美地区のCCRC、そういったものに力を入れている。そういう環境の中で、さきほど視点を変える必要があるんだという話があった。2040年に20000人にできるかどうかというのもこの2,3年の動きによって、当然修正しないといけない。国が3月31日に2040年の当別町の人口は、1万人になると、一方で2万になると言って、こっちは1万人というギャップはある。そういう意味で人口減少問題について、意見を伺いたいと思う。

○（町民）人口減の歯止めで、北海道新聞にも出ていたが、医療大学の生徒の移動は大きなウエイトを占めているように出ている。町内に住んでいるのは何分の1くらいしか住んでいない。色んな条件があつて札幌に若い人が住んだほうが勉強も遊ぶことも札幌にいたほうがやりやすいということはわかるが、生活面の条件として、空き家の問題はどこの町にも存在する。空き家の利活用ということで、空き家にもA B C Dというランクがあるみたいで、需要と供給ということで、ある程度手直しをかけたなら、住み込み可能というところに学生を札幌で、一人6万円の家賃を払うなら、2人か3人で共同生活的な入り方、少し改造しなければいけないが、そういう入り方をすると家賃は2万くらいになる。また、部活の一環として音楽とかその他の絵でもそういう

ことに使った利用の仕方を当別町として提供する。そのためには持っている家主と色々とコンタクトをとらないといけないが、なるべく利用できる、活用していく方法もあるのではないかと考えている。町営住宅を建てるにも大変な資金はかかるので、活用方法はあるのではと考えている。

○（議会）まず学生の状況だが、学校には約3500人くらいおり、その内、町内に居住しているのは、約900人が住んでいる。学長が、なるべく町内に居住してもらって、通勤の時間をかけるより、それを勉強に充ててほしいということで、話をしている。新聞にも出てたと思うけれども、町長が町内に居住してくれる方には町内の商品券を差し上げるということで、去年は8名か9名だったが、今年は10数名で、今年は秋にもやりましょうということで、学生の町内居住を進めています。あと、アパートの状況が、学生がさらに町内に居住することになればアパートが足りないというのも事実である。今、なるべく町内にアパートを建ててほしいということで、アパート組合ですとか、業者、不動産にお願いをし、町内で一戸、マンションを建設中ということもあり、これからも町も大学も町内居住をしてほしいというかたちでの取り組みを進めている。空き家の状況だが、先月末の状況で、当別町内、西当別も含めて、3月末で空き家は136軒、その内解決したのが60軒、現在調査をしており、解決していない物件が76軒、解決した内、解体、撤去したのが18軒、不動産会社に管理を移行したのが10軒、空き家をリフォームなどをして入居したのが、32軒、計60軒についての空き家は解決済みである。調査をしている76軒の内、空き家で連絡がつかないのが41軒、持ち主についての調査中は35軒で、町としても道の空き家バンクに登録したり、町内の不動産の人たちと組合と連携をとりながら、空き家の対策はしている。今、空き家をシェアハウスにしてということも検討しているが、学生はシェアハウスというのは嫌うんですよ。一緒に同居することを。そういう状況もあるで、町や不動産、アパート組合と連携をとりながら、なるべく、町内の居住を進めてもらうよう、大学にも呼びかけながらやっている状況である。

○（議会）他に人口減少等についての質問は。

○（町民）今の人口減少に関して、関連だが、当別町の中心である本町の方というのは、基本的に337号と275号と両方のルートからも外れている。当別町の知名度が低いというのは、地理的な部分もあるんだと思う。なので、当別町の顔となるもの、例えば町の施設の、庁舎の建て替えや、そういった機会をぜひ、新しく建てるとすると、現在の敷地に建てるのではなく、多くの人、特に札幌の人たちが目に入る、見ることができるエリアのところに町の庁舎を建てるとかしたほうがいいのではないかと。人口の減少を本当に止めるというふうにするのであれば、抜本的な施策というのは必要と思う。まず、多くの人たちに、見られる、そういうことを考えた方がいいのではと思う。そして、例えば当別町の売りというのは、農業ではあるが、例えば花き、全道2位、3位の生産量、出荷額を保っているが、恵庭のように花の町と言われたことはない。恵庭はほとんど花は生産していない。にもかかわらず花の町と言われる。当別町は第2位、第3位の地位を持っているにもかかわらず、それが表に出ていない。それから小麦も同じ。小麦の生産量も道内の中ではたくさん作っているはず。小麦というとお菓子で、うどんもそうだが、例えば、そこにロイズがある。ロイズという知

名度のある工場があって、しかも小麦があるのであれば、砂川のようなスイーツ街道みたいなかたちで、特に人口減が食い止められている太美地区を核にしてこの周辺にスイーツ関係の工場とか集中的に誘致する。そういったことで、働き場所を確保するとかがあってもいいのではと考える。堀江病院の件だが、ベット数を引き継ごうとする経営母体、病院関係はあるのか。また、町としても経営母体を探しているのか。堀江病院そのものを引き継ごうとすると施設自体が古いですし、魅力がないと思う。ですから当別町の新たな場所で50数床を運営したいという施設があるのであれば、その辺のお話を。特に人口減がどんどん進んで、しかも高齢化が進んでいるなかでは、どんどん流出を食い止めることができないと思うので、その部分の町としての考え、また今まで経営母体を探しているのであれば経緯をお話していただければと思う。

○（議会）太美地区のスイーツの町、この辺はぜひ、参考にさせていただき、色々な動きを今後やりたいと思う。

○（議会）堀江病院の最新の情報について、先週の17日に福祉部の部長、課長、係の方とお話しをして、現状について聞いており、町民の中にはいろんな噂がある。58のベットを売ったのではないかという噂が出ているが、町の方にはそういうことは一切来ていないということであった。今後、堀江院長の意向が出ると思うが、町がこの後、医療や介護の問題で町民が何を求めているのかというのをしっかり見定めて、そして堀江院長とあたっていくと。まだ堀江院長とは会えていないというのが現状である。その席で出た話だが、例えばそこに愛里苑があるが、100床ベットがある。介護施設だが、今8床空いているが、農繁期になる目前だが、農繁期になったら入れてほしいということで、予約がいっぱいだ。そういう当別の特殊性ということで、福祉部も特質を活かした、高齢化ということもあるので、町民のニーズに合った医療、介護というところで、全体的な包括するプログラムをしっかりと立てて、堀江院長としっかりと話をしていきたい。今のところ、最大限町長は、ベットを確保することで努力している段階ということを知っている。

○（議会）先ほど視点を変えるということでしたが、具体的な提案やご意見があれば。

○（町民）土地の値段が札幌に比べて、かなり安い。札幌で新築住宅を持つとすると1000万円以下では無理である。ここだと、坪当たり2万そこそこで、何分の1かになり、計画を持っている人であれば、若い人でも将来、定年退職をしたら家庭菜園かなんか楽しんだり、子供たちにも体験させるような場所を提供できるということになるのではないかと考えている。札幌では、敷地内に雪を捨てることも難しいと思うので、最低でも100坪あたりの敷地を安いですよということで売り出せば、来てくれる方がいるのでは。

○（議会）1995年に太美地区の宅地が開発され、5000人が一挙に増えた。この20年間、まったくやっていない。太美駅前の再開発、およびCCRCというのをより具体的に議会の立場でこれから要請していきたいと思っている。

○（町民）人口を増やす端的な方法は、住み家を増やさないと人口は増えないと思っており、そのためには、さきほどのCCRCが一つのキーワードだと思っています。例えば、手稲ではマンションを余計に建てたら、人口がバタバタと増えて活性化していった。企業を誘致するには大変なエネルギーと時間が必要になるのではと思ってお

り、大人口の札幌と隣接しているわけですから、札幌の皆さんに魅力ある当別をアピールしながら、もっと言うなら、事業者に対して、当別が色々お膳立てをして、マンションなり、サ高住なりを作れる環境を整えて、事業者を当別に着目させて、マンション事業やサ高住を建設してもらおうとかの仕掛けづくりを当別でぜひやるべきことではないかと思っている。

○（議会）生涯活躍の町づくり、CCRC というのは、現在、行政でも具体的に動いています。太美駅周辺、獅子内地区、スウェーデンヒルズというところを、具体的には32年くらいからは、入れるようなかたち、この1,2年で案件が具体的に、それを建てる業者を選定する段階で今動いている。太美地区、当別地区において、人口減少を止める、同時に増やしていくという、手っ取り早い方法、それと太美地区の町所有で、使っていない場所が駅前にあるので、それをいかに有効に使うかというのが、人口の減少を止め、さらに増やすところにかかっているのではないかと思っている。ただ、子供の数が非常に少なくなっているのが、当別町として最大である。ちなみに今年小学校1年生は、太美地区は42人で2クラス、当別地区は35人で1クラスです。来年以降もこれが続きそうである。30町内あるところがこういう状態になっていて、いかに子育て世代を呼ぶかが重要であると思う。子育て世代について議員から少し話をしていただく。

○（議会）宮司町政になってから、道の駅ですとか産業の活性化のほうを中心に動いてきたところが多かったと思うが、180億円を超えていた負債を30年度で約100億円にまでは減ってくと思う。こういったところで、なかなか財政的に動きが取れなかったというところが、色々手がつけられていないところがあるのかもしれないが、その中でも、昨年から保育所の3歳未満の第2子について、所得制限なく保育料の無償化というのが始まっており、小学校では、当別地区だが、小学校中学校の一体型の学校を作るとか。ふるさと納税のお金を使いながら、小学校、中学校に定員よりも多い先生を配置する事業も継続して行われているので、少しずつ子育て世代に向けての施策というも行われているのではと思っている。

○（議会）生涯活躍の町づくりということで、今基本構想出ているが、これから29年度、30年度に向けて基本計画を作る予定だったが、そのためには、事業者を選定するが、応募がなく、まだ決まっていないので、事業計画までまだいかないとなっている。ただ、モデル地区ということで、獅子内地区やスウェーデンヒルズなどそれに向けて、用途地域の見直しや、少しずつ動き出すということである。当別地区では、小学生1年生35人、太美地区42人、だんだん子供が少なくなると先生も少なくなってくる、そうすると運動部がない、サッカー部がない、サッカーをしたいが部がないし、先生もいない、学校にも要望しているが、顧問がいないのでできないが、それよりも子供がいない、11人いなければ部としても成り立たない。泣く泣く陸上に行きなさいとか、そんな問題も出てきているので、なんとか人口減少を早めに手を打たないとだんだんと当別町自体もますます負のスパイラルにはまってしまう。議会としても人口減少問題、少子化高齢化については、いの一番で取り組んでいる状況である。

○（議会）他の案件であれば。

○（町民）道の駅に行くところの17線に、ふれあいバスが通っているが、ほとんど

人が乗っているのを見たことがない。町は、現在、バスをどのように活用しているのか、お聞きしたい。

○（議会）まったく言われるとおりで、1年間実証期間ということで、何人乗るのかということで、統計をとって、現在行っている途中だが、1便走る中で、1人にならない。0.何人という統計上ではなる。私も見るが、乗っているのは見たことがない。議会でもそのことを取り上げて、今、実証試験の期間中だから、すぐやめるということはできないだろうけど、どう考えているかということ町長に質問した。答えとしては1年間やってみて、その結果ということだった。実際はスターライトやスウェーデンヒルズや色んなところを巡ってくるので、バスの利用している人にしたら、便利さは若干、今までよりはその分増えるからいいが、問題は採算性だとか、色んなことを考えた場合に本当にいいのか、道の駅のお客さんそのものが、往復400円でバスで行く人がどれだけいるのかということも質問したが、町長はまだ認知度が少ないからという言い方で答えてました。実証期間を過ぎれば、そういった問題、言われたことが具体的になってくるので、今までの道の駅のバス路線ができるまでの路線の状況と道の駅ができて、どうするかという問題、改めて、今言われているようなことが、きちっとまな板に上がるので、住民の声を聴いて、無駄なお金をかけない、便利なことがあればそれを活用しなければいけないが。今のところ、そういう指摘が多いので、大事な意見として反映させるようにしていきたいと思う。

○（町民）実証実験について、札幌は後期高齢になると無料パスが出て、タダである。タダとなったら、年寄りでも乗る可能性がある。そしてお金を落とす可能性がある。例えば70歳以上の人に無料パス券を配るとか、それもひとつの手だと思う。調査の中に、それをやったらどのくらい乗る人が変わってくるか、そういう調査をしないで、今の状況では切り捨てられる可能性もある。

○（町民）17線のバス停について、雪解けの時は大きな水たまりができる。そういうところに人が来るのかなと思う。1年間赤字続きを続けていいのかと思う。1日、1人、2人乗るのか乗らないのか継続するのは、疑問に思う。そのような状態で利用しなさいというのは無理があるのではと思う。

○（議会）料金の問題について、最初は高いのではという話があった。100円でもいいのではという色んな意見があった。とりあえずは200円で実施させてくれという町の回答もあって、実証期間ということもあってそうなった障がい者や高齢者の人たちに対して、無料や100円だとかいろんなことを住民にやさしい配慮をするという姿勢が率直に言うと欠けている。これは議会の中でもわたしの力の足りなさもあるんですが、皆さんから出された意見は大事なことですし、太美南のバス停前は、特に雪解け時期は、ひどく、通学路でもあり、子供たちが気を付けながら歩いているのを見かける。2年前から町には何回も言ってきたが、予算がないということで実施してこなかった。道の駅の看板ができて、太美南側に建ち、言ったら、2週間で排水溝ができた。今は、水たまりの心配はなくなった。住民の切実な思い、願いなどいろんな問題を町にもっとぶつけて、やっていかせる必要があるのではと、参加された皆さんの意見からも改めて、しっかりと受け止めてやっていかなければと感じている。

○（議会）ふれあいバスのダイヤ、料金の問題、引き続き我々も行政へ伝えたいと思

う。以前に高齢者の運転免許返納ということで、何か考えたらどうかと質問したが、前回の議会で、交通弱者対策として今後考えていくということだった。そこも合わせて、皆さんの意見を伝えたいと思う。17線ということで、道の駅の通りになっています。道が非常に悪い。歩道も付けろということも行政に話をしているが、道の駅が昨年9月23日にオープンして、3月末まで当初25万人の予定が40万人で、売り上げが2億円の売り上げがあったということで、報告がきている。先週も土日も混んでおり、GWは相当の人が入るだろうと、直売所も今日から再開し、道の駅に関連して、皆さんのほうか感想や提案があれば。

○（町民）道の駅の関係につきまして、売り上げ、1人当たりの単価、などの話はそれとなく聞いているが、住民からすればにぎやかになり、売り上げが増えることは大変いいと思うが、道の駅を運営している会社、町、他の団体がお金を出しているが、その運営の状況をぜひ適宜、皆さんに公表していくことが必要と思う。それに対するチェックは議会の皆さんが、していただかないと誰もできないのではないかと思う。その場合には道の駅の単年度ごとの計画に対して実績がわかるような説明がなければ、成功しているのか成功していないのか、何で判断していいのかわからないと思うので、その点を要望したいのと、去年の収支決算の状況についてご説明いただきたい。当別に出戻りで生活しているが、当別町の良さを、徹底的にPRして、全道なり全国に発信して、いくことが大事ではないかと。その場合のキーワードは、今の現実の農業を中心とした自然と、長く先輩方が築いてきた教育に対するたゆみない取り組みがあるのではないかと、今度一貫教育をやられるようですが、その中身をもうちょっとはっきりわかるように何を目指しているか。そういったことに対する説明もわたしは不十分ではないかと思っている。これから考えるというのはちょっとおかしい話だと思う。これも議会でもチェックしていただいて、方向性を持って進めていかないといけないと思う。札幌圏に対して近い。電車1本で行ける。これは働く世代が札幌で働くことが可能だし、子育て世代が引っ越ししていただいて、そこで生活しても教育が行き届いている、進学したら当別にも高校がある、札幌の高校に通うにも便利である、そういう当別の利点を大いにPRして、わたしはサ高住もいいと思うが、これから、半世紀の長期ビジョンに立てば、若い世代が働きながら住むことができるというその視点を大いにPRして、農業もがんばっているので、農業体験もできると、そういったことをアピールして、つなげるということをお願いしたい。2万人の話は、わたしには夢物語的で、もうちょっと現状を見て、どうしたら2万人になるのかという説明がない。希望的観測で言われているようにしか聞こえないので、もう少し現状を見て具体的に積み上げることが必要ではないかと思えます。

○（議会）道の駅について、株式会社t o b eという会社が指定管理をしているところが運営しています。t o b eにつきましては、株主がおり当別町が1番であとJA、商工会、と北洋、道銀、信金の3つの銀行が株主になっているということで、あとは町内の業者が株主になり構成されている。これから収支については、取締役会、株主総会を来月末に行い、収支の状況が報告されると思うが、まだ確定的な数字には至っていない。当初から収支については、3年間は赤字が続き、4年目からは黒字体質に転換するという当初の予定にはあるが、5月末にどういった数字が出てくるのか、そ

れについて、議会として取り組むということではないが、t o b eからの報告については、議会に出てくるので、その段階で、皆さんに周知できるかなと思う。

○（議会）教育と2万人構想の具体的な説明については、こういうお話をいただいたということで、提案ということで報告させていただきたいと思う。

○（町民）道の駅について、40万人が来られたということだが、来た方に対して、もっと当別町の良さをPRすべきである。住んでもらえるような。前は当別はあまりいい印象を持っていなかった方が、このあいだ道の駅ができて、ホントにいい町だねと言ってくれた。もう少し、人の集まる場所に当別町の良さをPRすべきだと思う。

○（議会）このような意見があったということで伝えたいと思う。

○（町民）道の駅について、低所得者用の店ではないなと感じた。食べ物にしてもラーメンやカレーライスは扱っていない。野菜や農産物にしても、高い。店で買う値段より高い。普通大根1本100円くらいかと思うが、道の駅では200円近かった。付加価値を付けて高く売るのが商売だという感じで、低所得者向けではない施設だと感じた。市場から仕入れる店より安くなるはずなのに、高くなるというのはどういうことなんだと思った。

○（議会）価格の面、食べ物の種類、ラーメンやカレーは、匂いがあるので、今、中ではできないと聞いているが、今後、外でやる計画はあるということである。価格については、そのまま伝える。

○（町民）道の駅の中庭について広いので、子供の遊べる何かがあったら、もっと家族連れが気楽に来れるのではないか。人が集う場所があってもいいのではないかと感じた。

○（議会）中庭の使い方は、雪が解けて、来月以降、いろんなイベントが計画されている。

○（町民）年間を通して何月はこういうイベントがあるという固定した客を呼べるようにしてはどうか。

○（議会）これも伝えます。道の駅以外で。

○（町民）太美は道路を歩くとつまづくことがある。道路脇の自然排水は、雨が降った後、水が溜まって、蚊が発生する。そういうところをしっかりと、都会では使えない買えない、広い面積の土地を利用して住んではどうか、というのが大事ではないか。太美に住んで3年になるが、歩くと地盤が悪いことはわかるが、路盤整備がしっかりできていないところが多い。何年経ってもマンホールが10センチも浮いている。道路の舗装ははがれている。穴の開いているところを埋めてほしいと言ったら、ここは私道ですよと、20年も使っている道路を、穴を埋めてほしいと言ったら、今回は埋めますが、この後はできませんと言われた。もう少し排水や道路の整備をしっかりとやってほしい。この報告会、会場上、マイクは使わないといけませんが、議員さんとの距離が遠い。議員さんとひざ詰めで話ができる、マイクを使わなくても話ができるようなことがいいのではないかと思う。

○（議会）道路、インフラ整備、いろんな話ありました。懇談の方法も参考にさせていただいて、検討したいと思う。

○（町民）町内会、43あるが、町内会と呼ばない町内会があるのをご存知か。全部

で3つくらいある。そこの地域は自治会という名前で、行政推進員というのが各町内会に委託されている。そしてそれなりにお金をもらっている。行政の線引きでなぜ、太美地区で言うとビトエが自治会という名前で、町内会というかたちでは認めないのか、たぶん構成している戸数が少ないのか。これの支障について、町内会としないから、そこの地区だけ行政推進員が出ない。町の広報が配られるものも他の町内会を通して、そこに渡すようなルールになってるみたいである。各行政推進員、1万円でも削れば、全部町内会というかたちで、活動が可能ではないか。太美地区は、西当別連絡協議会という13町内会、12町内会と1自治会とは呼んでいない。13町内会として連合を組んでいる。弊害なのは、本町を含めて、全体の連合町内会が存在しない。太美地区の西側は、13町内会の連合というかたちになっている。本町を含めて、これがなっていない。作った時の経緯とか細かい点はわからないが、ちょっとした工夫でなるんだけど、行政の線引きで、完全に切り捨てたく、はじいている感じなので、それを直すことはできるのか。各行政推進員さんの報酬から少し出して、そこから3自治会となっているところも救えるのではないか。いろんな連絡体制をとるにも不都合があるのではないかと前から思っていた。議会としても質問して回答いただきたいと思う。町内会の設備について、270くらいあるとのことだが、町内会館を持っているが、平成12年に建てて、年数が経ち、傷みが出てきているが、畳が擦り切れて、町内会長をやっていたときから行政に言っても、優先順位ということを言ってくる。優先順位から言ったら公共的に使う施設、例えばコミセンとかそういうところの修理修繕は優先だと、会館はいつになるかは知らせてくれなかった。町内独自で、修繕しようということになった。1万円以上の支出は本来は行政負担である。故障や修繕したときに、請求書が1万円以上であれば、行政が支払ってくれることになっているはず。ところが行政は、それをいいことにどこかの町内会が言ってきたら、スターライトさんは独自の予算の中でやりました、とか変な事例を作りたくないと思っている。1年2年遅れてもあとからでも全額返してもらえなくても、本来の負担が町であれば戻してもらおうような契約、そうして事業だけは先に進んでやってもいいけど、という話をしているが、そういうことがうやむやになっている。具体化したり、スケジュールとかはっきりしていれば、納得するが、例の検討しますと同じである。検討しているという言葉だけで、何も動いていないということをよく聞くんだけど、そういうやり方はそろそろ変えてほしいと思う。

○（議会）伝えるようにしたいと思う。

○（町民）議会報告会の件で、資料が前回から雲泥の差で良くなった。これを出席した人だけに配るのではなく、全町民に知ってもらうことで、議会と町民の距離を縮めることになるので、これを回覧板で回すとか、もしくは事前に報告会の前に回覧板で開催の案内とともに事前に見ていただいて、今日配布された資料で、出席者が何を質問していいかわかならないこともあったりするので、そういう方法も検討していただきたい。

○（議会）前回の報告会で、資料も説明も十分じゃないという指摘をいただいたので、検討した結果、今日の資料となった。回覧板も検討して回答したいと思う。

○（町民）都市計画税の定義ってわからないのだが、18線に面した通りに住宅があ

るが、そこは下水道や道路の舗装、歩道がない。下水はU字溝にふたがない状態で、都市計画税って目的税だと思うのだが、確か上下水道とか整備のために集めている税金かなと思うが、ふたがない下水であったり、歩道のない道路があったり、都市計画税のお金はそこへ使われないのか。

○（町民）防風林とスターライトの住宅の間にU字溝になっている。ところがそこに杭の一番端のほうで町内会の敷地に該当しそうなところである。行政は、これは国の防風林で財産で、町が何か言うことはできない。そこに住んでいる町民が訴えているのに、道や国に上げていくのが本当ではないのかと思うが。

○（議会）後日返答したいと思う。

○（町民）小中一貫教育に関して、子供たちに対し、当別町を愛し、誇れるような子供に育ててもらおう。そのために地域の歴史などいろんなことを教えたりする、ということを行っているのを何かで見た。ただ、小中一貫教育を行ったとしても、高校受験で途切れる。大学はあるけれども当別の大学に入らなければ、当別町からいなくなる。その中で当別町が誇れる子供が育つのだろうかということ考えたときに、可能であれば小中高大と一貫して当別町で暮らせる、そういう環境をそして教育内容を考えていったほうがいいのではと思う。大学は薬学とか医療関係があるが、例えば薬学を考えたときに大学では薬草だとかを育てており、そういう研究があるわけですから、バイオだとか花の新品種を育てるとか、効能が高い薬草を育てるとか、そういったところを取り上げたときに、小中の段階からそっちへ向かうような流れの教育内容を集中的に子供たちに教えていくとか。高で途切れるので、高校を町立の高校に買い取ってしまう、そういったこともできるのではないかと思う。三笠高校は閉校の危機の中で、調理師を育てることに特化した、市立高校にし、大成功している。小中の一貫教育で途切れさせないで、可能であれば大学まで、当別町で過ごせる。その中で役割りや倫理感、責任感といったものを合わせて、当別町で教わった知識というものを付けさせてあげる、そういうようなものがあっていいのではと思う。当別町にはいくつかキャンプ場がある。どちらも山岳型のキャンプ場で、当別町民が利用しようとしたら、結構時間がかかる。買い物をしっかりしていかないと、熱が出たとか、というときに、薬を持っていかないと帰ってくることも自体もままならない。今の時代、キャンプをする人たち、特に子育ての人たちは、どちらかというとサバイバルとかファッションとしてのキャンプ、レジャーとしてのキャンプというものが中心になっていると思う。できれば、当別町では都市近郊型のキャンプ場を造る。教育大の裏は川を挟んだところは当別町なので、そこに都市型のキャンプ場を作って人を呼び込む。買い物をしたいときはすぐにコンビニもある、風呂に入りたいときはふとみ銘泉もある。利用価値の高いエリアにキャンプ場を作ったほうが人は集まるんではないかと思う。

○（議会）小中一貫教育から大学まで、それと教育内容、最後に都市型のキャンプ場の件、貴重な意見として報告したいと思う。

◎閉会（石川議員）本日はご多忙の中、夜分にもかかわらず、長時間にご出席をいただき、大変ありがとうございました。議会報告会も6年目に入り、本日をもって11回実施させていただきました。本当に皆さんのおかげと感謝しております。今回は当別町の町づくりに関するフリートークをテーマとして意見交換をさせていただきました。

した。議員は聞き上手であってこそ民主主義は機能することをモットーに活動させていただいています。町民の皆様の疑問や貴重な意見をくみ取り、政策に反映させ、実現していくことが使命であります。このたびの町づくりに関する皆様からの貴重なご意見等を部局にしっかり伝え、議会活動、議員活動に必ず活かしてまいります。なお、本日のたくさんの貴重な質問、結果につきましては、議会報告をはじめ、直接質問された方にご返答をさせていただくこともあると思いますので、よろしくお願い致します。本日は本当にありがとうございました。